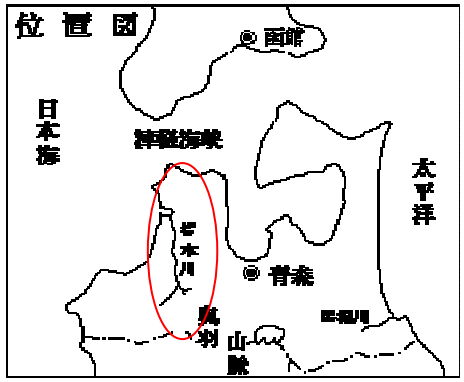
資料－２

岩木川河川事業の進捗状況

平成２１年３月１７日

東北地方整備局
青森河川国道事務所

平成20年度事業　位置図（治水事業）



凡　例
- 平成19年度事業
- 平成20年度事業
- 河道掘削箇所

【鶴田右岸地区（強巻）】
堤防整備：断面不足箇所
堤防強化
L＝946m
河道掘削
V＝37，000m3

【板柳地区（白子）】
堤防整備：無堤箇所
L＝1，200m
河道掘削
V＝33，000m3

【板柳地区（白子）】
堤防整備：無堤箇所
L＝928m
河道掘削
V＝38，000m3

【平川右岸下流地区】
堤防整備：質的整備
L＝309m

【平川右岸下流地区】
堤防整備：質的整備
L＝365m

【柏地区】
堤防整備：断面不足箇所
堤防強化
L＝978m
河道掘削
V＝14，000m3

【上中畑地区】
堤防整備：質的整備
L＝507m
河道掘削
V＝1，200m3

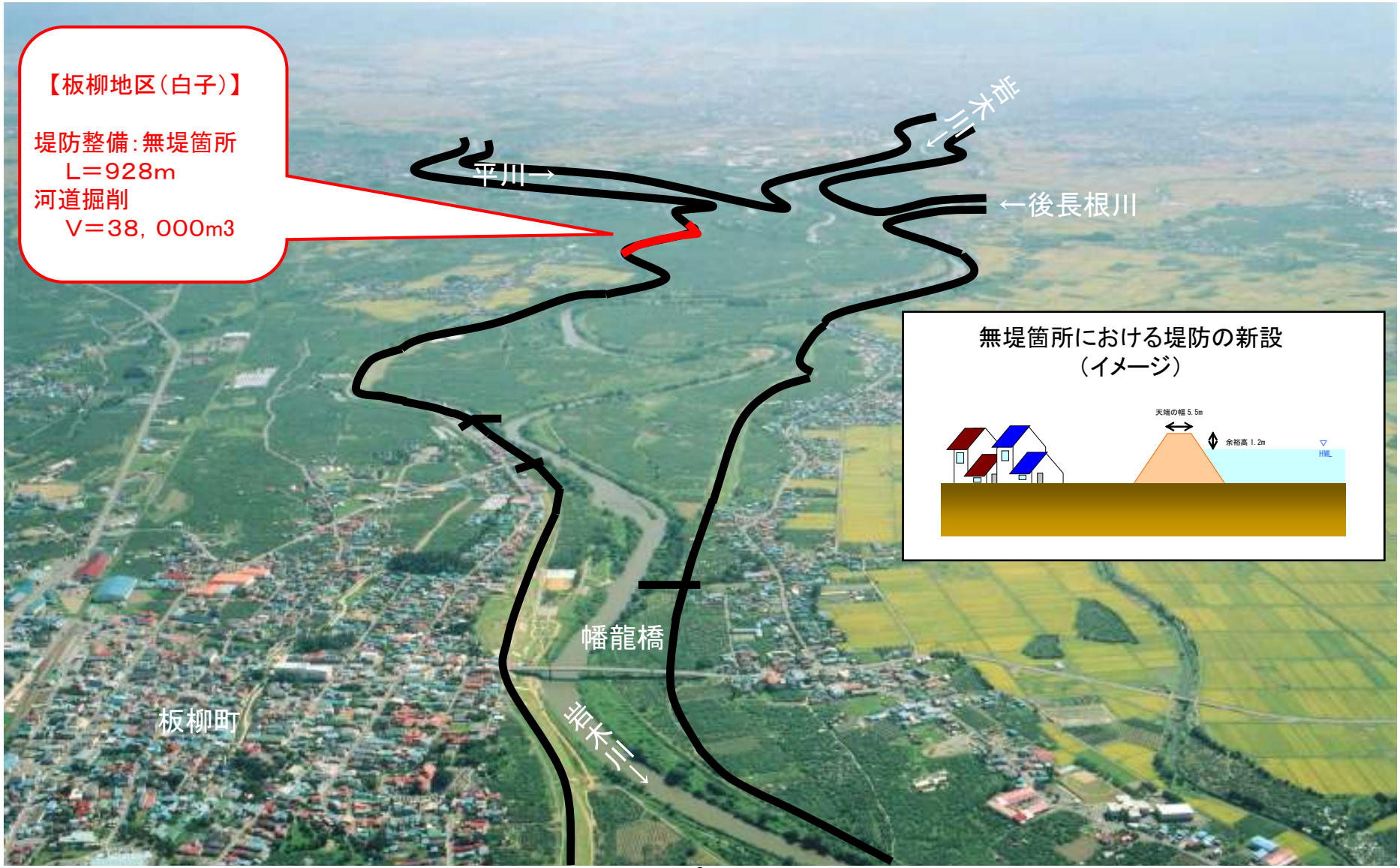
【弘前左岸下流地区】
堤防整備：質的整備
L＝637m

【弘前左岸下流地区】
堤防整備：質的整備
L＝406m
河道掘削
V＝3，000m3

【弘前左岸下流地区】
堤防整備：質的整備
L＝400m
河道掘削
V＝9，840m3

平成20年度事業　堤防整備・河道掘削

無堤箇所について堤防の整備を実施。堤防整備と平行して流下能力の低い箇所について河道掘削を実施。
掘削した土は堤防の整備に使用。

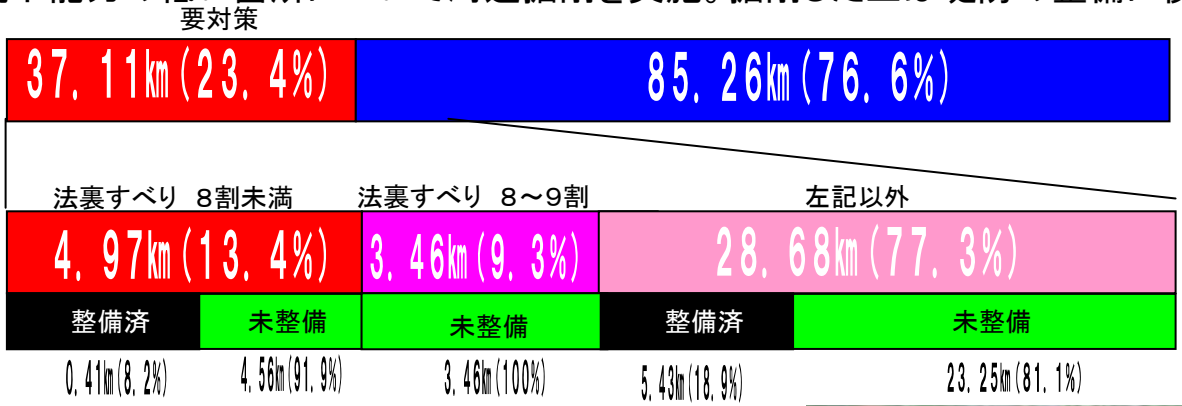


平成20年度事業　堤防整備・河道掘削

堤防の高さや幅が不足している箇所について整備を実施。
漏水や浸透に対して堤防強化を実施。
堤防整備と平行して流下能力の低い箇所について河道掘削を実施。掘削した土は堤防の整備に使用。

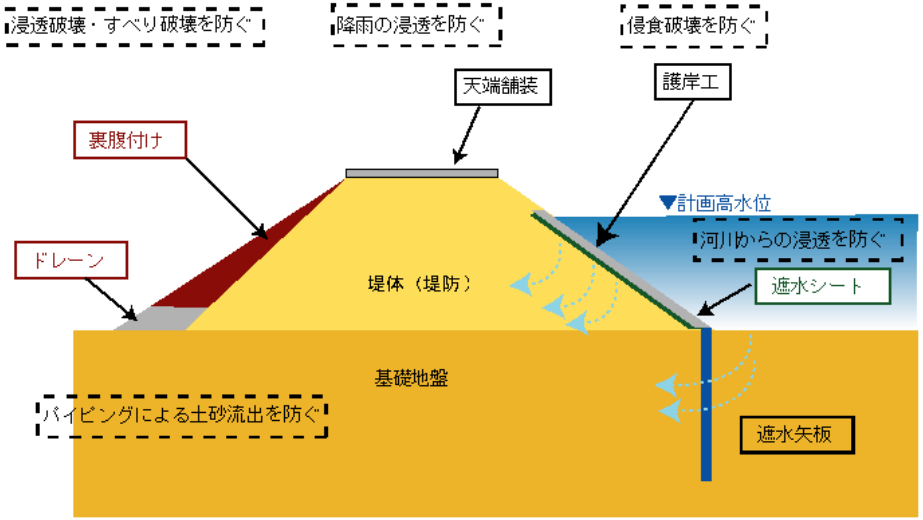
堤防の詳細点検の状況

H20．3時点結果



要対策箇所の被災形態

堤防の詳細点検実施状況（岩木川）



堤防の質的強化　断面イメージ

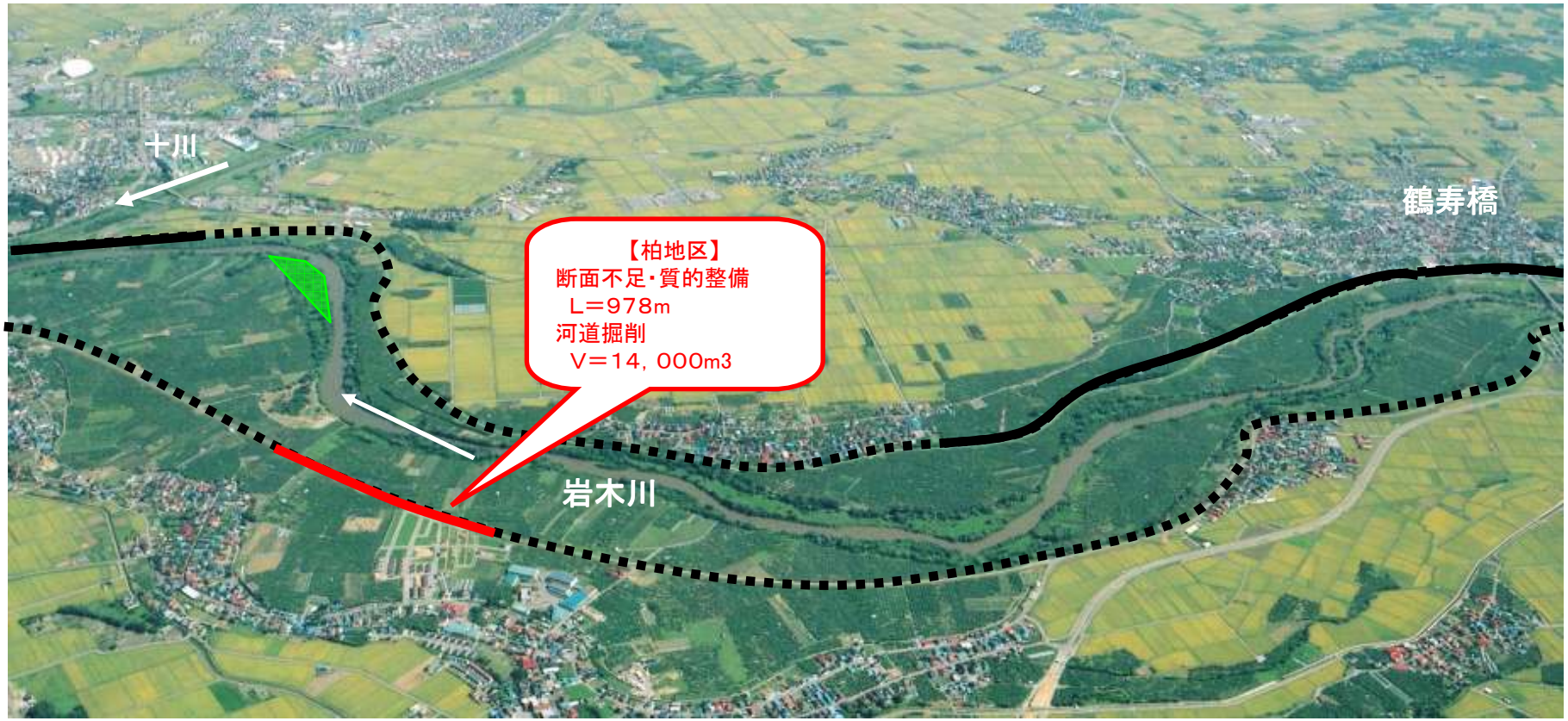


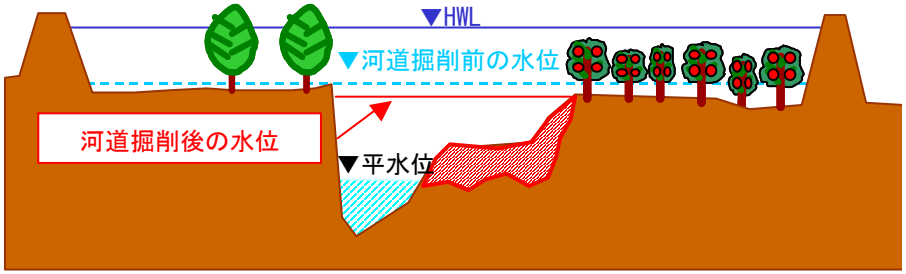




平成20年度事業　堤防整備・河道掘削

堤防の高さや幅が不足している箇所について整備を実施。
堤防整備と平行して流下能力の低い箇所について河道掘削を実施。
掘削した土は堤防の整備に使用。





河道掘削断面イメージ

※流下能力確保のために河道掘削を実施することにより、中小洪水時のリンゴ園の冠水頻度低減を図る。

平成19年度事業　消流雪用水導入事業

冬期の快適な生活空間を確保するため、
消流雪用水を供給するための用水機場、
導水路の整備を実施。

【鶴田地区　消流雪用水導入事業】
H19～23（予定）
用水機場1箇所、導水路
受益面積：約116ha

【板柳地区　消流雪用水導入事業】
H19（完成予定）
用水機場2箇所、導水路
受益面積：約130ha







平成20年度事業　消流雪用水導入事業

冬期の快適な生活空間を確保するため、
消流雪用水を供給するための用水機場、
導水路の整備を実施。

【鶴田地区　消流雪用水導入事業】
H19～23（予定）、H21年工事着手
用水機場1箇所、導水路
受益面積：約116ha

【板柳地区　消流雪用水導入事業】
H19（完成）、H20年供用開始
用水機場2箇所、導水路
受益面積：約130ha





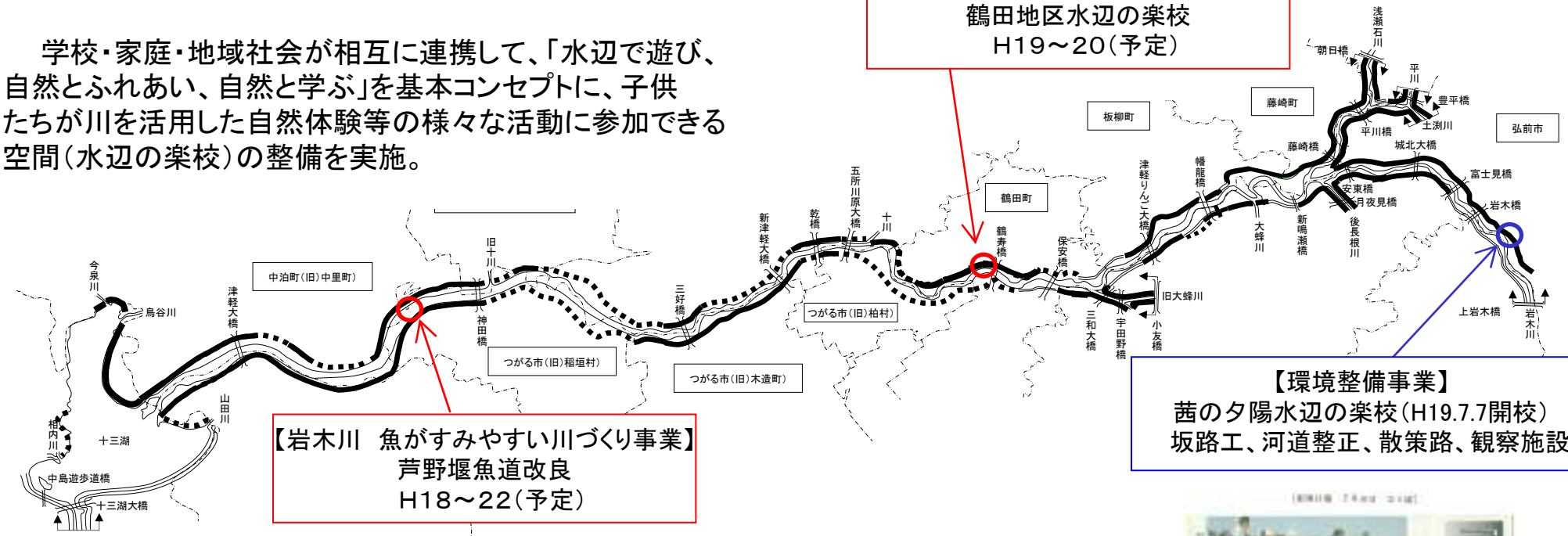


H19年度事業　環境整備事業

水辺の楽校の整備

学校・家庭・地域社会が相互に連携して、「水辺で遊び、自然とふれあい、自然と学ぶ」を基本コンセプトに、子供たちが川を活用した自然体験等の様々な活動に参加できる空間（水辺の楽校）の整備を実施。

【岩木川　鶴田地区環境整備事業】
鶴田地区水辺の楽校
H19～20（予定）



【岩木川　魚がすみやすい川づくり事業】
芦野堰魚道改良
H18～22（予定）

【環境整備事業】
茜の夕陽水辺の楽校（H19.7.7開校）
坂路工、河道整正、散策路、観察施設



芦野堰・芦野頭首工に関する勉強会



芦野堰魚道採捕調査



茜の夕陽水辺の楽校開校についての新聞記事

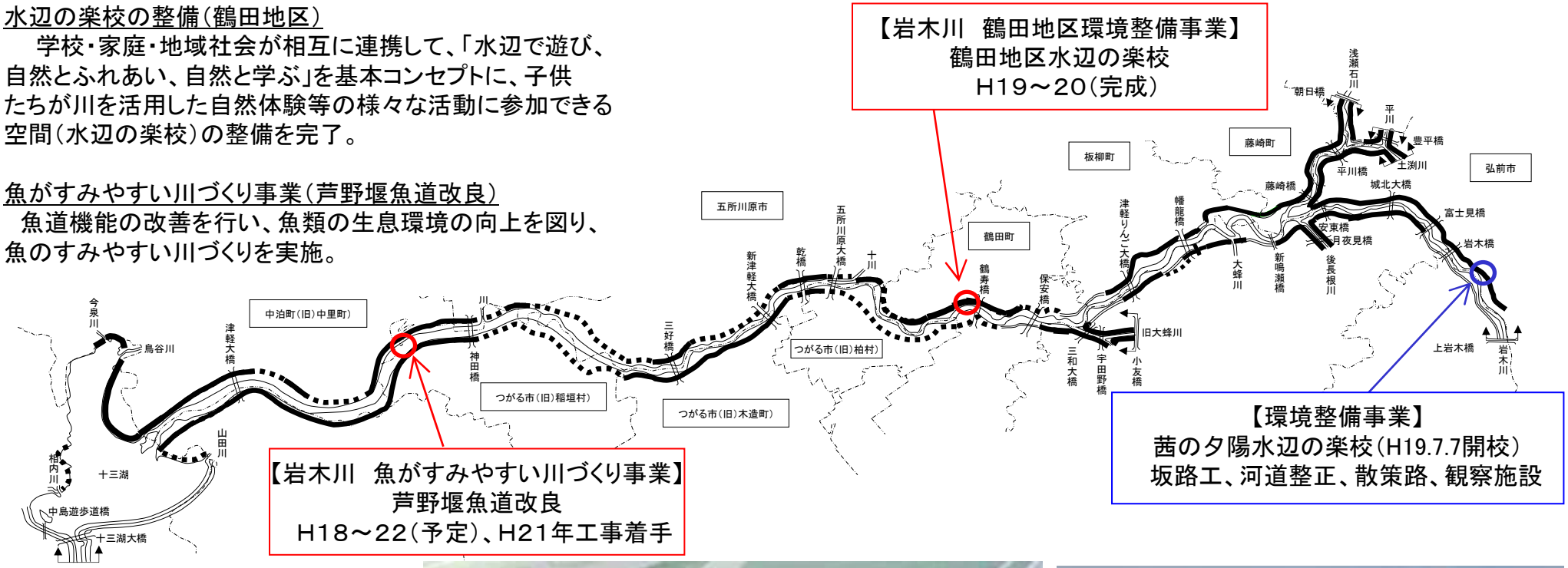
H20年度事業　環境整備事業

水辺の楽校の整備（鶴田地区）

学校・家庭・地域社会が相互に連携して、「水辺で遊び、自然とふれあい、自然と学ぶ」を基本コンセプトに、子供たちが川を活用した自然体験等の様々な活動に参加できる空間（水辺の楽校）の整備を完了。

魚がすみやすい川づくり事業（芦野堰魚道改良）

魚道機能の改善を行い、魚類の生息環境の向上を図り、魚のすみやすい川づくりを実施。





芦野地区魚道検討委員会



芦野堰魚道改良イメージ



岩木川カヌー川下り大会
（鶴田地区）

H19～20年度　維持管理業務

○維持修繕工事　（堤防除草工　年2回、伐木除根工　1式、
塵芥処理工　1式、芝張替工　1式
側帯設置工　1式）

○河川巡視業務　（河川パトロール週2回）

○樋門・樋管点検　（専門業者による設備点検　年1回、
操作員による点検　月1回）



堤防除草の状況



芝張替の状況



樋門・樋管点検状況

渇水

渇水に備えて～岩木川水系渇水情報連絡会

渇水は、水道、かんがいなど人々の暮らしに影響を及ぼすだけでなく、水質悪化や川に生息する生物への影響が懸念される。このため、平成7年、利水者、環境関係機関、河川管理者で構成する「岩木川渇水情報連絡会」を設立し、毎年、関係機関相互に情報・意見交換等を行っている。また渇水時には随時会議を開き、連携を密にしている。

構成機関
●河川管理者
（青森県河川砂防課、青森河川国道事務所、津軽ダム工事事務所、浅瀬石川ダム管理所など）
●利水者
（弘前市（水道）、五所川原市（水道）、東北電力(株)（発電）など）
●関係機関
（青森地方気象台、青森県農林水産部、東北農政局など）



平成19年7月20日、渇水発生を受け、臨時に会議を開き、情報・意見交換を実施した

近年の渇水対応（H19）

渇水対策支部活動

青森河川国道事務所では、7月23日より「岩木川水系渇水対策支部」を設置し、日々、迅速に河川・ダム管理者から情報収集、また利水者への情報提供を行った。

かんがい

岩木川地区土地改良区連合では、岩木川から必要な水量の取水が期待できなかったことから、各改良区で水を融通し合う番水制を実施した。

水道

弘前市では、市内に広報車を走らせ市民に対して節水の呼びかけを行った。また夏休み中にもかかわらず、学校のプール、市営プールを休止するとともに、大口需要事業所にも節水のお願いを行った。

鶴寿橋からみた岩木川（橋の上から上流を望む）

渇水時



水量が少なく川幅が狭くなっており、川岸の砂が顔を出している（平成19年7月31日）

平常時



その後降雨により、水量が回復し、川岸の砂も水没した（平成19年8月6日）

不法投棄

近年、地球温暖化、資源リサイクルなど環境問題が随所で叫ばれており、人々の環境意識は高まっているものの、一部の心ない人による不法投棄は未だ後を絶たない。高水敷は地域住民の憩いの場などとして、利用されており、河川敷への出入りは自由であり、人目につきにくい橋の下、ヨシ原のかげ等を中心に、不法投棄がたびたび発生している。

河川管理者は不法投棄対策として、看板の設置や情報提供など様々な取り組みを行っている。

不法投棄の実態調査

青森河川国道事務所では、管理している岩木川の不法投棄の実態について、調査しており、その結果は次のとおりである。

調査対象 4月～9月	H18	H19	H20
テレビ	27	8	13
冷蔵庫	13	2	8
洗濯機	4	7	3
エアコン	1	0	1
その他家電	13	10	5
自動車	1	0	0
オートバイ	3	1	2
自転車	8	13	6

（単位：台）



看板の設置、パトロール、各種広報活動など対策を講じているが、不法投棄は後を絶たない。

今後の展開

これまで行っている河川巡視や、看板の設置等を継続すると共に、ホームページに「ごみマップ」を掲載するなど広報活動も積極的に展開していく。

また、関係機関との連携や、地域住民の協力を得ながら不法投棄対策に取り組み、地域の環境を共によくしていくことを目指す。

さらに、水質汚濁対策連絡協議会の規約を改正し、不法投棄をはじめとする河川ゴミに対する対策も会の目的として位置づける。

不法投棄の事例

弘前市悪戸地区に古タイヤ200本以上



平成19年4月27日、岩木川右岸弘前市悪戸地区に古タイヤ約210本が不法投棄されているのを発見。弘前警察署に通報するとともに記者発表を行ったが、原因者の特定には至らず、止むを得ず河川管理者が処分した。

堤防の法面に大量のコンクリート片～つがる市



平成20年5月12日堤防法面に大量のコンクリートガラが放置されているのを発見。産廃不法投棄として警察へ通報、また記者発表を行った。新聞記事を見た原因者から出張所へ連絡があり原因者が判明、原因者自ら撤去した。（写真は警察と合同で現場検証している様子）

地域住民との連携事例



平成19年5月29日つがる市稲垣地区の河川敷地捨てられているゴミを発見。農機具、ビニール等が多く、農家が長年捨てた模様。つがる市と話し合い、市職員、地元住民、河川管理者が協働でゴミの撤去を行った。

水質汚濁対策連絡協議会事業

（１）水質改善活動

１）生活排水等の水質実態調査の実施

①　事務局として、土淵川、腰巻川、腰巻川放水路、藤崎橋、新鳴瀬橋、玉川排水樋門、鶴菖排水樋管、十川（五所川原大橋地点）からの排水を採水・分析をしています。

また、平成１７年度から

１．人と河川の豊かなふれあいの確保

２．豊かな生態系の確保

３．利用しやすい水質の確保

４．下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保

という４つの河川管理の視点別に指標のランクを設定し、住民参加による測定を協働で実施しています。

２）岩木川の水質実態調査結果の概要

①　岩木川の水質は、東北地方整備局管内の１１水系の中で、有機物汚染が進むほど、その値が大きくなるＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）の指標で、毎年、「ワースト５」内に入っている汚い河川です。

②　岩木川・平川の、ここ５年間の水質ランキングの動き。（悪い部分のみ記載）

○　平成１５年の水質結果　岩木川がワースト・１　平川がワースト・５

○　平成１６年は東北地方整備局では水質のランキング発表を控えています。

○　平成１７年の水質結果　岩木川がワースト・５

○　平成１８年の水質結果　岩木川がワースト・６

○　平成１９年の水質結果　岩木川がワースト・４

③　平川・岩木川の公共水域での水質観測所のＢＯＤ値は、１月～６月間の計測数８８回に対し、ＢＯＤ環境基準値を上回った回数は１２回であった。

④　大腸菌群数は、ほぼ全ての水質観測地点で、毎回基準値を上回っております。

⑤　環境ホルモンは、三好橋では平成１３・１４・１７年度に検出されていますが、平成１９年度は検出されておりません。

乾橋では、平成１６年度に検出されましたが、それ以降は検出されておりません。

⑥　ダイオキシン類は、乾橋地点で平成１４、１５年度に検出されたほか、平成１５年度に新たに追加し、実施をした河口地点でも、平成１５、１６年度に検出されましたが、両地点とも、それ以降は検出されておりません。

３）岩木川の主な測定地点水質実態の概要

① 岩木川は、上岩木橋から安東橋までは、「生活環境の保全に関するＢＯＤ環境基準値」以下の「きれいな水質」です。

② 平成２０年上半期分の平川のＢＯＤ値は、国土交通省・青森県の測定で、環境基準値を上回った回数は、ありませんでした。

③ 岩木川と平川が合流した最初の水質観測地点の幡龍橋では、１月～６月の間の１２回の測定で３回（２５％）環境基準を上回りました。

④ 岩木川の五所川原・乾橋地点では、幡龍橋地点にくらべ流量が多く、幡龍橋地点の測定値を毎月下回っております。１月～６月の間の１２回の測定で２回（１７％）環境基準を上回りました。

⑤ 岩木川水系では、平成２１年上半期分の測定でＢＯＤの環境基準を超えたのは、１３１検体中２０検体で、１５％となっております。

４）支川流入水の水質実態調査の結果

すべての調査地点の水質分析の結果から、次のような特徴点が言えます。

① 大腸菌群数・ふん便性大腸菌・総窒素・総リン・塩化物イオン・陰イオン界面活性剤が検出され、生活排水が流されています。

② 結果として、生物化学的酸素要求量（ＢＯＤ＝溶存酸素の存在する状態で、水中の微生物が増殖呼吸作用によって消費する酸素）が、「生活環境の保全に関する環境基準」値（＝Ａ類型で２mg/ℓ以下）を大幅に上回る「大きな値」となっています。

③ 平川橋地点よりも、上流で平川に合流する「腰巻川放水路」からの流入した汚濁水が、平川の水質悪化に大きく影響をおよぼしている可能性が高いということが言えます。

④ 「鶴菖排水樋管」からの排水を、平成１５年度から調査を実施しています。
その結果は、予想を上回る生活排水による汚染が進行していることが判明し、平成２０年度においても改善の兆しが見えません。

⑤ 大腸菌群数の測定では、すべての流入河川で測定されました。

５）水質実態調査の結果からの考察

① 調査の結果から言えるのは、調査地点での水質が悪い場合には、それよりも上流部の各家庭から、「生活排水」が、日常的に流されていることによるものと考えられます。

② 事務局が実施している一部の調査結果から、生活雑排水が、排水路を伝って、岩木川に流れ込んでいることが、水質悪化の一因となっていることが推測されます。

③ 生活雑排水による汚濁負荷量を削減するために、各行政責任者は責務として、下水道整備の普及、合併式浄化槽の適切な管理、家庭からの雑排水対策の啓蒙活動をおこなっていただくことが、必要なことと考えます。

（２）広報活動について

１）「川をきれいにするポスター」募集

昭和５４年度から、岩木川及び馬淵川水系水質汚濁対策連絡協議会の広報活動の一環として、沿川市町村の小学生の目を通した「河川に対する意識」のポスターを製作することにより、「河川愛護」の思想を育むことを目的に実施しています。

「川をきれいにするポスター」暦年応募・特選者名一覧表

年度	市町村		小学校数			特選者氏名等		
	数	応募	対象校	応募校	作品数	学　校　名	学年	氏　　名
s54	24		164	24	853			
s55				22	1,813	弘前市立第三大成小学校	６年	登嶋　弘人
s56				26	2,010	弘前市立第三大成小学校	４年	中野　文晴
s57				29	2,902	弘前市立文京小学校	２年	小川久美子
s58				37	3,321	弘前市立第三大成小学校	４年	三浦　俊英
s59				40	3,398	弘前市立第三大成小学校	１年	菊池　智行
s60				34	2,614	弘前市立第三大成小学校	２年	丹代　奈々
s61				32	2,892	弘前市立第三大成小学校	３年	三浦　裕子
s62				32	3,522	弘前市立第三大成小学校	３年	小野寺由香
s63				49	4,780	弘前市立第二大成小学校	４年	長尾　明樹
H 1				40	3,555	弘前市立高杉小学校	３年	河越　慶子
H 2				45	2,968	弘前市立朝陽小学校	４年	佐々木鮎子
H 3				46	3,302	平賀町立松崎小学校	６年	今井　美穂
H 4				48	4,295	弘前市立石川小学校	６年	工藤　美幸
H 5				53	4,747	弘前市立朝陽小学校	６年	白崎　真理
H 6				61	3,692	尾上町立金田小学校	６年	奈良岡香波
H 7				58	3,883	弘前市立致遠小学校	６年	工藤　晴己
H 8				59	3,166	弘前市立西小学校	６年	相沢　佑子
H 9				60	3,434	弘前市立時敏小学校	４年	米谷こはる
H10				66	3,858	尾上町立猿賀小学校	６年	葛西華奈子
H11				62	3,490	弘前市立第三大成小学校	６年	藤田　　環
H12				64	3,240	弘前市立桔梗野小学校	５年	工藤　芳礼
H13		16		62	3,278	弘前市立高杉小学校	６年	水島　潤弥
H14		14		67	3,815	弘前市立豊田小学校	５年	平野　遥香
H15		14		70	4,148	弘前市立致遠小学校	３年	吉﨑　真鈴
H16		14		70	3,217	弘前市立桔梗野小学校	６年	北村　陸城
H17	17	11	134	67	3,015	相馬村立相馬小学校	５年	村上　大顕
H18	13	10	134	72	3,311	弘前市立船沢小学校	４年	蒔苗　成穂
H19	13	10	134	71	2,961	弘前市立千年小学校	２年	中村　風然
H20	13	8	134	63	1,242	平川市立碇ヶ関小学校	６年	工藤　ほのか

２）「川をきれいにするポスター」展示会

応募のあった作品のうち、入選作品を流域市町村の役場等において展示し、地域住民への河川愛護思想の啓蒙を図っています。

３）水質情報紙の作成

水質汚濁対策連絡協議会の関係機関に、水質の情報を提供する目的で上半期分と下半期分の、年２回発行しています。

（３）水質事故対応関係

１）想定通報演習について

河川水質の水質悪化若しくは、水質事故発生に伴う油事故を想定した連絡体制の確認の目的で実施しています。

平成１９年度から４月下旬に実施しています。

２）油流出想定ｵｲﾙﾌｪﾝｽ設置訓練について

各自治体の担当者が、オイルフェンス等の取り扱いに熟知し、独自に設置できることを目的に実施しています。

「内　　容」

①　オイルフェンス組立、設置訓練
②　小水路等での緊急処理方法と資材の方法
③　油の回収資材の使い方
④　中和剤の性質の実演

（４）その他

１）水質調査体験学習会

実際の現場で、どのような器具を用い、どのような方法で採水しているのかを水対協加盟団体のみなさんに体験をしていただく目的で、平成１３年度より実施しています。

［別表］　岩木川水系水質汚濁対策連絡協議会委員　（1）

○印は常任幹事

所　属	所　在　地	委　員	幹　事	摘要
東北地方整備局	９８０－８６０２ 仙台市青葉区二日町９の１５	（会長） 河川部長	水政課長 ○河川環境課長	
東北地方整備局 青森河川国道事務所	０３０－０８２２ 青森市中央三丁目２０の３８	（幹事長） 事務所長	○河川管理課長 ○調査第一課長	
東北地方整備局 津軽ダム 工事事務所	０３６－１４１１ 中津軽郡西目屋村大字田代字神田 57	事務所長	○調査設計課長	
東北地方整備局 浅瀬石川ダム 管理所	０３６－０４０４ 黒石市大字板留字杉ノ沢２番地	管理所長	○管理係長	
東北経済産業局	９８０－８４０３ 仙台市青葉区本町３丁目３番１号 仙台第１合同庁舎　５階	（副会長） 資源エネルギー環境部長	○資源エネルギー環境課長	
関東東北産業保安監督部 東北支部	９８０－００１４ 仙台市青葉区本町３丁目２番２３号 仙台第２合同庁舎９階	監督部 東北支部長	○鉱害防止課長	
青森県	０３０－８５７０ 青森市長島一丁目１の１	（副会長） 県土整備部長	○河川砂防課長 都市計画課長	
		環境生活部長	○環境政策課長	
		健康福祉部長	保健衛生課長	
		農林水産部長	水産振興課長	
		行政改革・危機管理監	防災消防課長	
	０３６－８０６１ 弘前市神田二丁目７－５ 中南地域県民局地域連携部 弘前環境管理事務所		○弘前環境管理事務所長	

［別表］　岩木川水系水質汚濁対策連絡協議会委員　（2）

所　　属	所　　在　　地	委　　員	幹　　事	摘要
青森県 警察本部	０３０－０８０１ 青森市新町二丁目３－１	生活安全部長	生活環境課長	
五所川原市	０３７－８６８６ 五所川原市字岩木町１２	市長	○環境対策課長	
つがる市	０３８－３１９２ つがる市木造若緑６１の１	市長	○民生部 環境衛生課長	
中泊町	０３７－０３９２ 北津軽郡中泊町大字中里字亀山 434-1	町長	環境衛生課長	
鶴田町	０３８－３５９５ 北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬２００の１	町長	町民生活課長	
板柳町	０３８－３６９２ 北津軽郡板柳町大字板柳字土井２３９の３	町長	町民環境課長	
藤崎町	０３８－３８０３ 南津軽郡藤崎町大字西豊田一丁目一番地	町長	住民課長	
青森市	０３８－１３９２ 青森市浪岡大字浪岡字稲村１０１の１ 浪岡事務所	市長	浪岡事務所 市民課長	
弘前市	０３６－８５５１ 弘前市大字上白銀町１－１	市長	○環境保全課長	
黒石市	０３６－０３６９ 黒石市大字市ノ町１１の１	市長	○生活環境課長	
田舎館村	０３８－１１１３ 南津軽郡田舎館村大字田舎舘字中辻 123-　1	村長	厚生課長	
平川市	０３６－０１０４ 平川市柏木町藤山２５の６	市長	市民生活部 市民課長	
大鰐町	０３８－０２９２ 南津軽郡大鰐町大字大鰐字羽黒館５の３	町長	○住民生活課長	

［別表］　　岩木川水系水質汚濁対策連絡協議会委員　（3）

所　　属	所　　在　　地	委　　員	幹　　事	摘要
西目屋村	０３６－１４９２ 中津軽郡西目屋村大字田代字稲元１４４	村長	住民課長	
弘前地区 消防事務組合	０３６－８２０３ 弘前市大字本町２－１	消防長	警防課長	
黒石地区 消防事務組合	０３６－０３５７ 黒石市追子野木一丁目５７６	消防長	予防課長	
五所川原地区 消防事務組合	０３７－００７４ 五所川原市字岩木町１２	消防長	警防課長	
平川市 消防本部	０３６－０１１３ 平川市平田森前田３３１	消防長	警防課長	
つがる市 消防本部	０３８－３１４２ つがる市木造赤根１番地１	消防長	予防課長	
青森地域広域 消防事務組合	０３０－０８６１ 青森市長島二丁目１－１	消防長	浪岡消防署長	
板柳町 消防本部	０３８－３６７２ 北津軽郡板柳町大字灰沼字岩井７０	消防長	板柳町消防署長	